



おにぎり通信

2020年10月3日（土曜） 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷・市ヶ谷周辺や銀座・日比谷公園、東京駅周辺などで生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

10月になりました。気象庁は先月10日、南米・ペルー沖の海面水温が平年より0.5度以上低い状態が続く「ラニーニャ現象」が発生したとみられると発表しました。「ラニーニャ現象」の影響で、日本列島は今シーズンの冬は東日本と西日本を中心に厳冬になる傾向があるといえます。少しでもおだやかな冬になるといいですね。

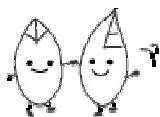


福祉行動は引き続きお休みします。ただし福祉事務所へ行くことを希望される方は、おにぎりを持参してうかがった際に、お声がけください。お声がけいただいた場合のみ、翌々日の月曜日に、福祉事務所まで同行いたします。

最寄の福祉事務所

中央区福祉事務所・中央区築地 1-1-1 中央区役所 4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 3階



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりはかならずその日のうちにお召し上がり下さい。一人でも多くの方に召し上がっていただくため、おにぎりは一人一個でお願いいたします。

『ビッグイシュー日本版』が創刊されて17年が経ちました。この間、路上生活状態の人が8割ほど減ったとされています。これは、ビッグイシューがめざしていた路上生活からの脱出の一助とするという目的が成果を結んだことのあらわれでもあります。ほかにもビッグイシュー基金の創設や「路上脱出ガイド」の配布（通算で10万冊以上）などの成果を上げています。

しかし、路上生活からの脱出者が増えるなどにもなって、逆に販売を担う人が減って販売冊数が減り、赤字になるという、「ビッグイシューのジレンマ」を抱えるようになっていきます。

そこで、この4月1日発売の380号から100円値上げし、450円にしました。販売を請け負う人の収入増加とともに、販売部数減少による制作会社の厳しい経営状況の打開もめざしています。

この改定により、販売者の収入は1冊あたり180円から230円となり、平均販売冊数は1号あたり150冊～200冊とされるので、もし175冊売れば4万250円になります。1日と15日の月2回の発行ですので、月にすると8万500円の収入となり、これは生活保護費の23区の単身世帯の生活扶助費の水準をやや上回ります。しかし、路上を行き交う人が減れば、販売者にとって大きな痛手となります。感染が再拡大して、ふたたび外出自粛要請などにならないようにと願います。

四ツ谷おにぎり仲間 連絡先 080-7967-8672

連絡可能時間 毎週土曜日 午後3時～午後6時

千代田区翹町6-5-1 聖イグナチオ教会